

## 大会記録を大幅に更新

昨年の10月号の多古元気人で紹介した安西伸浩さん(現在、社会福祉法人榎の実会ひかり学園職員)が、5月28日に行われた「千葉県障害者スポーツ大会陸上競技の部 知的男子1500m」で4分3秒00というタイムをたたき出し、大会記録を大幅に更新しました。また、4分3秒05の日本記録を上回る素晴らしい走りを見せました。安西さんは「4分を切るという目標を持ってレースに臨みましたが、目標は達成できませんでしたが、通過点でもある日本記録を出せて嬉しいです。8月に岐阜県で開催される全日本ID陸上競技選手権大会では、練習の成果を発揮できるよう、必ず4分を切ります」と力強く話してくれました。

この大会には多古町身体障害者福祉会からも3名が出場しており、各種目で素晴らしい活躍を見せました。

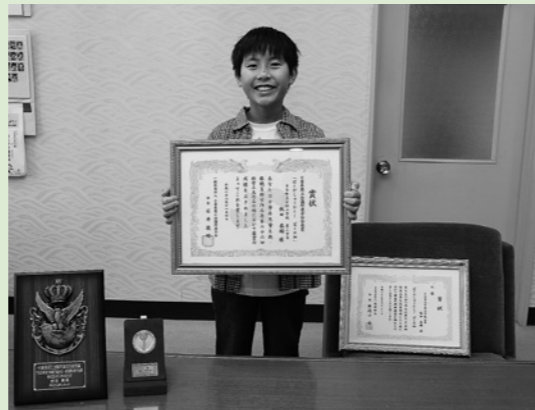
## 全日本児童発明くふう展で入選

昨秋に開催された第66回千葉県児童生徒・教職員科学作品展(工夫作品の部)において、中村小の飯田奏輝君(現4年生)の作品「ほくがしゅうかく! ほくの畑」が香取郡市代表として出品され、千葉県商工会議所連合会会長賞を受賞しました。続く、第75回全日本学生児童発明くふう展では、千葉県代表として出品し全国768点の中から見事入選を果たしました。

この作品は、缶の中の大豆をモーターで振動させて作物のミニチュアを浮き上がらせる仕組みで、祖母の「畑の作物も勝手に出てきてくれたらいいのに」という言葉からこの作品を作ろうと考えたそうです。

飯田君は「前回よりも一つでも上の賞を取りたいという気持ちで臨んだら、県で上位に入賞できて驚いた。この賞は、お父さん、お母さん、おじいちゃん、おばあちゃん、家族全員でもらった賞です」と話していました。

今年もアイデアに満ちあふれる子どもたちの作品に期待します。

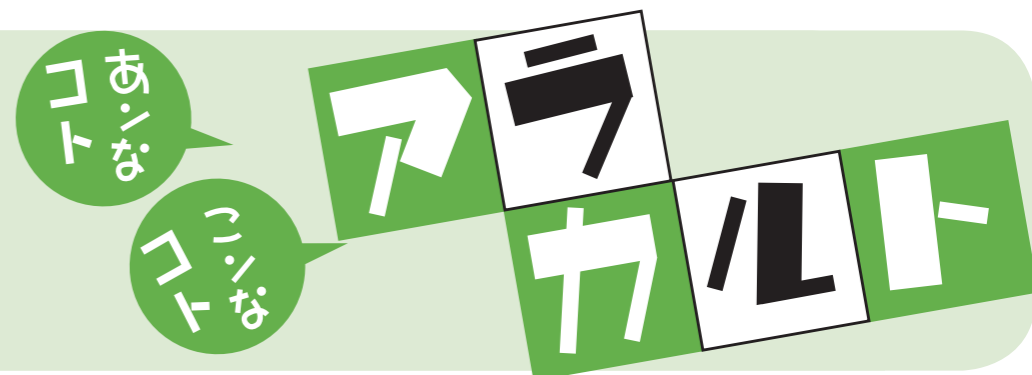


## 税関って、何するところ?

6月28日、久賀小の5、6年生を対象に税関教室が開かれました。町内の小学校で初の試みとなったこの教室。税関の仕事は、外国から入ってくる品物に税金をかけた後、荷物などで薬物や拳銃、条約で守られている動植物などが日本に入っていないように、正しく検査することです。また、児童たちは手荷物検査の疑似体験や麻薬探知犬によるデモンストレーションに触れ、麻薬の作用について説明を受けました。麻薬は一度使ってしまうと取り返しがつかなくなり、断る勇気がとても重要なことを学びました。



町の出来事や頑張っている皆さんを紹介するアラカルトコーナー。  
このコーナーでは、皆さんからの情報をお待ちしています。  
〒289-2292  
多古町役場企画空港政策課広報係  
☎76-5409



## 見て見て! 採れたよっ!

天候に恵まれた6月24日、島地区の畑で恒例のじゃがいも掘り体験が行われました。NPO法人 都市と農村交流会の小川成義会長は「今年は品種をキタアカリにしたので、昨年に比べて小粒だけたくさん採れると思います。肉じゃがにするとホクホクして美味しいですよ」と話します。当日は、応募総数約380名の中から当選した約150名の参加者が町内外から集まり、多古町の自然に触れま



した。畑のあちこちから「見て見て〜!」「いっぱい採れたよ〜!」と元気な子どもたちの声が聞こえてきました。

夢中になってじゃがいもを掘った後は、島地区のお母さんたちが作ってくれた肉じゃがや蒸かしいもをいただき、たくさんのじゃがいもと美味しい料理で大満足した参加者たちは、キラキラした笑顔で帰っていきま

## アジサイとみんなの笑顔

6月18日に日本寺であじさい祭りが開催され、本堂内では献花祭が行われました。午後には、ウ学級による童話劇「虫の王子様」の上演やジャズライブ「Coltrene Day」が演奏されました。童話劇は今年で3回目を数え、今回はサン・デグジュペリの星の王子様を面白おかしくアレンジしたもので、終盤には子どもたちにお手伝いをしてもらう演出がありました。子どもからお年寄りまで、幅広い年代の笑い声と笑顔があふれる1日となりました。

当日はあいにくの曇りでしたが、アジサイを撮るには絶好の写真日和。花に強い影が出にくいので、きれいに咲くアジサイを写真に収める来場者が多く見られました。イベントはこの日だけでしたが、2〜3週間はきれいなアジサイを楽しめたことでしょう。

